



西条市国際交流協会
ひろゆき
副会長 安藤宏幸さん



▲在留外国人が暮らしやすくなるよう
交流イベントの開催などに努めます

国が違えば、文化や生活スタイルはさまざま。昔と違って外国人の住民が増える中、私たちに必要なのは「多様性を認める」こと。それは自分の考え方や価値観を見直し、お互いを認め合うきっかけになります。

ただどうしても日本人は、同一性ものを求めてしまいがち。考え方や、ちょっと違うことに対して受け入れようとしな部分があります。それに、まだまだ「〇〇人が来た」など、外国人に対して距離を置き、特別視してしまいがちです。そうすることは外国人と日本人の間に大きなギャップを生じさせ、差別や偏見

などにつながってしまいます。

日本で生活する外国人も初めは不安でいっぱいです。私たちが受け入れることで、お互いが暮らしやすくなると思います。言葉の壁はあるけれど、声を掛けたり、交流したりなど、まずは触れ合うことが大切。少し勇気がいるかもしれませんが、それを繰り返すことで、習慣になります。私も交流イベントなどを通じて、市民の国際理解を深めるお手伝いをしていきます。さまざまな交流を通じて、少しでも多くの人がストレスなく生活できるよう、活動を続けていきたいです。

違いがあることは みんな一緒



みんなが 暮らしやすい場所に

～多文化共生のまちづくり～

特集

多文化共生とは、国籍や民族の異なる人々が、互いの違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら生きていくこと。

外国人との「共生」が日常となった今、全ての人が安心して暮らすためには、私たちはどのように接していくべきなのでしょうか。

共生社会を目指した取り組み

年間を通して、交流を目的としたイベントや、人材育成を目的とした語学講座など幅広い取り組みが行われています。

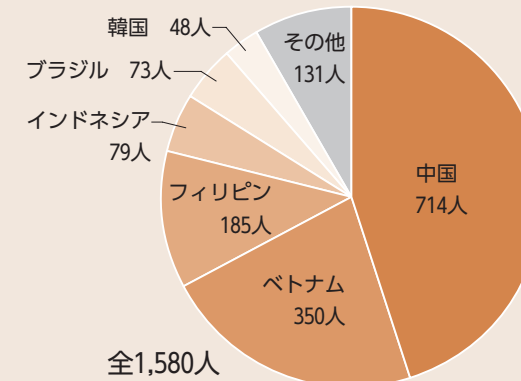


①毎年約2,000人が参加するハロウィンイベント ②市内中高生を対象に英語講座
③ジョージワシントン高校の生徒を受け入れしホームステイや交流活動 ④友好都市ベトナムのフエ市で西条の魅力を発信。当市はほか2カ国（オーストリアのセーバーデン市・中国の保定市）と友好都市として交流 ⑤ベトナム語などを学べる語学講座

29カ国の外国人と暮らす私たち

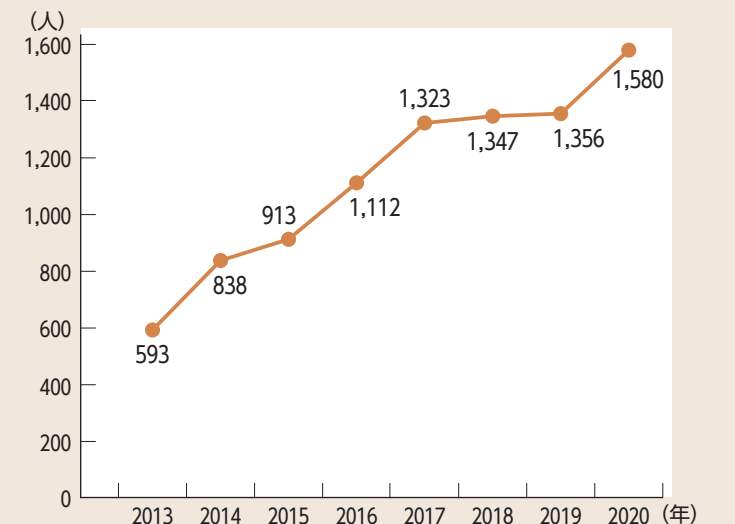
※2020年の数値は、7月31日現在

○国籍別市民数



現在、29カ国の方々が市内で生活しています。そのうち企業などで技術を習得するために働く「技能実習生」が約6割を占めています。

○市内に住む外国人の推移



4人
1580

西条で暮らして

西条で暮らす外国人は1580人※。
誰もが暮らしやすいまちにするため
には何が必要なのでしょう。
西条で生活する4人の外国人に暮ら
しの中で感じたことを聞きました。

※2020年7月31日現在



座談会は国際交流員2人も含めて
オンラインで開催しました！

受け入れてくれたから
すぐにまちの一員に

——初めて来たときの西条の印象は。
メーガンさん（以下、メ） 山とか
川とか景色がほんとすてき。まずは
慣れるためによく自転車であちを走
ったね。敬語使わないといけないか
なと思ったのにみんなフレンドリー
ですごく安心できたね。

サーシャさん（以下、サ） 食べ物
がおいしい。みんなとてもやさしく
て、すぐに受け入れてくれた。で
も標準語で勉強してたから、「かま
ん」とか、初めは方言を理解するの
が難しかった。

李さん（以下、李） 方言は確かに
「何言ってるの？」って思った。で
もみんな声掛けてくれるから、友達



休日には市内の名所を満喫

や知り合いが増えた。みんなが助け
てくれるから生活に慣れるのに時間
はかからなかった。あと自然が多く、
ドライブするにはすごくいい場所。
コアさん（以下、コ） 風景とかは
母国と似ていて、穏やかに生活でき
るところだなと感じました。子ども
が遊べる場所が多いですね。市民の
森によく行ってます。

——自身に変化はありましたか。
コ 子供の教育のため西条に住み始
めました。いろんなイベントに参
加して、日本語も上手になって自分
の成長にもつながってます。

メ 考え方が柔らくなった。違う
文化だからこそ、このまちの人の違
う意見を聞いて、生活スタイルを合
わせています。日常を過ごすことで
文化に慣れていきますね。

サ 普通だと思っていることが、普
通じゃないと分かってくれる人が多
い。そうやって気付く部分は大切や
なと思いました。あと「こんにち
は」とかあいさつが習慣化しました。

だれもが住みやすいまちへ

——困ったことや不便なところは。

李 会話に主語がないことが多い。
「食べた」「終わった」とか、動詞
だけで分かりにくいときがあった。

メ お医者さんとかは相談するとき
会話が速くて、言葉が科学的で理解
できない。簡単に説明してほしいと
思いました。自分の症状がうまく伝
わらず、求める対応をしてもらえな
かったときもあります。すごく残念
な気持ちになったね。

李 病院に1人で行くのはとても不
安だね。私は妻が日本人だから、
一緒に行ってくれるので助かってい
ます。

サ 私は教員の同僚に言ったら連れ
て行ってくれるから、あんまり困っ
たことないけど、教えてくれる人お
らんかったら苦しむよね。説明とか
もやさしい日本語（※）を使ってく
れたら分かると思う。

コ 休日に子どもが熱を出して、ど
こへ連絡すればいいか分からないと
きがあった。結局月曜まで待って病
院に行ったけど、緊急なときの対応
が分かっていると心配ですね。

メ あとは災害のとき、避難の仕方
が分からない。放送の大きい音が鳴

ってパニックになるし、簡単でいい
から説明がほしいですね。

李 住み始めたときに生活に必要な
情報などが書かれた案内書があつた
り、オンラインで役所の手続きがで
きるシステムがあつたりすると助か
るんじゃないかな。

サ もう少し情報が簡単に入手でき
たらな。ホームページとか見るけど
情報が多すぎて、見づらいから、あ
きらめてしまう。家の近くに駅がな
いので、車を持っていなかったとき
は、バス移動がほとんど。買い物と
かが少し不便だった。

西条が好きな理由は人の優しさ

——日本での交流や活動でうれしか
ったことは。

メ みんなが声を掛けてくれること。
「大丈夫？」とか「元気？」とか。
日本人にとっては当たり前のことか
もですが、私にとってはすごくうれ
しいこと。

サ ほんとにそれはありがたいよね。
バスに乗ったときにおばあちゃんが
果物をくれたり、違う学校の先生が
マスクをくれたりしたのはうれしか
った。私のことを理解してくれて、
気を遣ってくれて、みんなやさしい



（右上）子どもたちと料理を作っ
て交流 （右下）在留外国人の友
だちと、食事などで絆を深めます
（左上）コアさん一家。西条での
生活を楽しんでいます



コ この前、保健センターからの案
内をベトナム語で通知してくれたん
ですけど、それはすごくよかったで
すね。西条市の子育てサポートは良
いので、続けてほしいですね。
李 西条がテレビで紹介されるとう
れしい。私にとってここが第二の故
郷だから。あと地域のイベントに参
加することで、僕たちのことを覚え
てくれるのもうれしいです。皆さん
が声を掛けてくれるおかげで日本語
が上手になり本当に感謝しています。

※簡易な表現を用いたり漢字にふりがなをふったりなど、外国人にも分かりやすく伝わりやすい日本語



コアさん

西条在住歴2年。
ベトナム社会主義
共和国出身。会社
員。西条の子育て
環境を気に入り、
家族全員で移住。



李さん

西条在住歴3年。
韓国出身。会社員。
妻が日本人で、結
婚を機に西条に移
住。お気に入りの
場所は八堂山と瓶
ヶ森。



サーシャさん

西条在住歴8年。ニ
ュージーランド出身。
市内の小学校のALT。
好きな食べ物は焼き
そば、お好み焼き。



メーガンさん

西条在住歴3年。ス
コットランド出身。
西条南・小松中学校
のALT。好きな飲み
物はボンジュース。

ALT…外国語指導助手。小中高校
などの英語の授業を補助。



新しいふるさとで異文化理解を深める

アメリカでは、マイノリティ（※）の人たちへの暴力や差別が多く見られます。私もそう、毎日がとても不安でした。大学生のときにマイノリティについて勉強し始め、「その知識を国際交流活動に生かしたい。異文化理解を深めれば、お互いを理解し、全ての人が暮らしに不安がなくなる」と思ったんです。

西条では人権問題や差別などを学んでもらうため、本を読んでも受講者で討論する読書クラブを新しい取り組みとしてスタートしました。各国の改善する必要があるところを学んでもらい、

皆さんの視野を広げてもらうことを心掛けました。ほかに海外からの観光客誘致やテレビ出演など、さまざまな仕事を経験。どんな仕事でも一人でやってしまいがちですが、国際理解に関心を持って、頼れる人たちがいてくれたから、新しい活動にも

どんどん挑戦できました。私はほんとに西条が大好きです。西条まつりと石鎚山お山開きは、着任1年目から参加し、市民の皆さんと交流を深めるだけでなく、みんなで一緒にやり遂げる大切さを学びました。お山開きではご神体も背負わせて

もらって、私でもそんな大役をさせてもらえる環境と人のやさしさにとても感動しました。

7月で西条を離れ、一時帰国します。毎朝「おはよう」と迎えてくれた石鎚山が見られなくなるのはとてもさみしいです。西条では、プライベートでもたくさんさんの思い出を作ることができ、関わってくれた方々に本当に感謝しています。今後はまた日本に戻って、観光の仕事に携わりたいと思います。何かを見たり体験したりするだけでなく、現地の人と触れ合えるような観光ツールを考えていきたいです。

※少数派。弱者の立場にある集団として位置付けられやすい

ダイアナ・マリー・リントン

アメリカ合衆国出身。在職期間は2016年8月～2020年7月。大学生時には日本へ留学し、日本語を勉強。卒業後は香港で2年間勤務。再び大好きな日本へ来て働くことを決意し、来西。

グエン・ブイ・アン・ティー

ベトナム社会主義共和国出身。在職期間は2017年7月～2021年7月（予定）。大学生時には東洋学を勉強、日本で修士課程を修了後、在ホーチミン（ベトナム）日本国総領事館での勤務を経て、来西。



日本とベトナムの良い関係を保ちたい——。ベトナムから日本に来る人は多く、そのほとんどが技能実習生ですが、環境の違いなどからトラブルが多いんです。だから同じベトナム人として、母国を誇りに思いながら、日本の社会の一員として生活できるお手伝いをしたいと思い、日本に来ました。

思い出に残っているのは、私が企画した、実習生が帰国前に日本人の前でスピーチする「ベトナム人対話」。出稼ぎというイメージを持つ方も多いと思いますが、彼らは家族や将来のた

めに、あこがれの日本で働いています。私も彼らの努力している姿を見てきたからこそ、このような場を設けて、自分の夢や思いを伝えてほしかったんです。参加してくれた皆さんも感動してくれて、彼らに対して親しみを持つてもらえるいい機会になったと思います。

これまで交流イベントの企画に力を入れました。ただ私一人でやるのではなく、市内に住んでいる外国人も巻き込むことを心掛けました。私たち国際交流員の役割はみんなをつなぐことです。日本人と外国人、お互い

にどう接したらいいかわからないときがあると思います。国際交流に興味がある方は、ぜひ、声を掛けてください。

西条はとても住む環境が良く、ここに来てから1年後に娘を連れてきました。地域の皆さんに支えてもらっているからこそ、満足のいく生活や仕事ができます。本当にありがとうございます。残りの1年、友好都市フエ市との交流や在留外国人への支援、そしていろいろな形で多くの外国人に西条の魅力を知ってもらえるよう、活動をがんばりたいです。

人と人の「輪」を広げる

イベントの企画や外国人住民への生活支援など、地域の国際化をサポートする国際交流員。

西条市では平成5年に県内で初めて国際交流員を招致しました。

今年度活躍する彼女たちに活動への思いを聞きました。

ダイアナは7月31日で任期を終了し帰国しました。メッセージなどは市ホームページからご覧いただけます。



取材を終えて

ここで暮らして良かったとみんなが思えるように

市内に住む外国人は、違う文化やルールに不安を抱えながらも、西条での暮らしを選択し、生活しています。どこかで外国人と距離を置いていた私ですが、取材で明るく会話してくれる姿に、自然と距離が縮まった感じがし、また今まで気付かなかった課題や、考え方を知ることでもできました。

日本で暮らす外国人が増える中、多文化共生のまちづくりが必要ですが、難しく考える必要はありません。イベントや日常生活でちょっと声を掛けてみるなど、少しの行動や気遣いが大きな一歩となります。

市では国際交流員や国際交流協会を中心に、在留外国人の生活支援をはじめ、交流イベントや講座などを開催しています。困った事や気付いた事などは、お気軽にご相談ください。

▼問合せ 市庁舎新館2階 国際交流推進室

TEL 0897-15211206